学校番号	T3036

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	新・高校生の美術１（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・作品を作ることの楽しさを知り、作品を鑑賞することにより得られる感動を味わえるようになりましょう。
・作品制作をする上で必要な技法を身につけ、計画から制作までこなせるようになりましょう。

2　学習の到達目標

・努力して作品を完成させることにより、生きる力、豊かな心を育てる。
・創造する喜びを知り、感性を高める。
・鑑賞することにより感動し、人の個性も自分の個性も大切にする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深め、作品を制作するにあたってアイデアを実現する表現方法を工夫し、丁寧に制作する。	作者の意図と創造的な表現の工夫などについて考えるとともに、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術や美術文化と豊かに関わり、作品を作る喜びを味わいながら楽しく積極的に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	鑑賞	・オリエンテーション ・10 年後の自分を描き、美術で表現する自己紹介	a:美術の特質に応じた物事を捉える視点や考え方を身につけている。 b:構成や表現方法などを創意工夫している。 c:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高める。	観察 作品の出来	作品の出来 ワークシート	観察
	表現・鑑賞デザイン	・鉛筆による15段階デッサンの基本 ・「色を作ろう」 ・「線で表そう」「形で表そう」 ・四季のイメージ	a:作図や色彩の基礎に関心をもち、色の濃淡や色彩を考えながら、課題を制作している。 b:形や色彩などの働きを理解し、構成や表現方法に創意工夫が見られる。 c:自身のもつイメージを作品に表現しようとしている。	観察 作品の出来	作品の出来 ワークシート	観察
	立体デザイン	・空き缶に新聞紙などをはりつけてオブジェを作る ・アイデアスケッチプリント	a:目的や意図に応じて材料の特性を生かして、作品を制作している。 b: デザインの目的、機能、美しさなどから主題を生成し、表現の構想を練っている。 c: 作品制作の面白さに気づき、表現や鑑賞活動に主体的に取り組んでいる。	観察 作品の出来	作品の出来 ワークシート	観察

後期	表現	・絵画の模写 教科書の描きやすい作品何点かから模写する ・模写 教科書から集めた「顔」を鉛筆で模写する	a: 対象の作品を書くために必要な技法を身につけている。 b:対象を見つめて、形体の特徴をつかみ、構成や表現方法などを創意工夫している。 c:対象の作品を書くために必要な技法を考え、表現しよう主体的に取り組んでいる。	観察 作品の出来	作品の出来 ワークシート	観察
	デザイン	・紙袋のデザイン 持ち歩きたくなるような紙袋のデザインを制作する	a: 材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、計画を基に制作している。 b:デザインの目的、機能、美しさなどから主題を生成し、表現の構想を練っている。 c:デザインすることに興味をもち、主体的に作品制作に取り組んでいる。	観察 作品の出来	作品の出来 ワークシート	観察
	立体デザイン	・パッケージを作る 厚紙で作る立方体に色を塗ったりコラージュしたりしてパッケージを作る	a:材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、計画を基に制作している。 b: デザインの目的、機能、美しさなどから主題を生成し、表現の構想を練っている。 c:これまでに学習した技法を生かし、工夫を凝らした作品を制作しようとしている。	観察 作品の出来	作品の出来 ワークシート	観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度